

## 会員の声

### より魅力ある投稿欄に

藤本枝太\*

本会誌も創刊以来通巻22巻を数え、会員の声欄もそれなりに活用され役を果しているように思われる。さらにより興味が湧き、より魅力ある会員各位の自主的投稿欄とし、会誌の開頁に際し硬い内容の本文に先立ち優先的に気易く開く気になるような色頁としたいものである。

投稿の内容はその性格からしてエネルギー・資源の範囲に限定されることは止むを得ないとしても、その具体的表現の内容によっては、より身近かな生活環境まで発展してもよいのではあるまいか。例えば家庭の風呂を沸かす場合途中で搅拌する方がよいか、しない方が効果的かというような問題などあるだろう。

本来声欄は各個人の意見が中心となるもので、本文記事に対する批判、意見、時には質問、反駁など当然あり得るだろう。たとえ未だオーソライズされていない意見でも、長期的にみて将来理論的にも実験的にも承認される場合もあり得るだろう。何分対象となる内容が新しく、未完成部分も多分にあることから、たとえ現在は個人的意見・思想としても将来はオーソライズされる運命が待っているかも知れない。特許など優先権を主張したい研究速報的色彩のもの、或は個人の特技、新しい思想、問題解決の鍵となるような奇抜とも云えるようなヒントなど偶にはあってもよいだろう。

一般に会員の声としては投書の内容のものが多く、随想、個人的意見、放談など余り肩の凝らない内容のものが多いが、主たるテーマの対象が少し硬い嫌いがあるので、主食ばかりではなく建設的な副食さらにデザートまで取入れることがむしろ好ましく、読者に対するサービスともなるう。

世の中の進歩発展に関しては、昨日までは不可能だったものが明日には可能性ができ、またこれまで地球上に存在しなかったと思われる新規な新しい資源が生まれ、それによってさらに特定の技術が開発されよう

としている昨今、古い(古典的?)思想に余り捉われないで自由な創造性を発揮し、時には常識を飛躍した一見突飛に思われるような説も、具体的認識の下には許されてもよいのではあるまいか。

平素このような考え方でいるが、もしより効果的な声欄のあり方について個人的構想として許されるなれば、具体的には会員各自の自由な意見、必要に応じその提供されたテーマについて自由に投稿する性格のものとし、手許の有合わせの原稿用紙に思付きのなぶり書き程度の軽いものでよいのではあるまいか。

こんなことを書けば人格が疑われるとか、将来の昇進にきづがつくとか、時には学者或は技術者としての社会的生命が脅かされるなどの心配は、欄の性格からみて杞憂に過ぎないと思われる。例えばレアメタルに関する半導体现象を初めとした新しい技術は、常識からみて未知の技術と云えるものが多く、たとえ近い将来と雖もそれらを予測することは不可能に近い。このような無限といえるかも知れない、将来に発展する可能性のある計り知れない分野に対してどのような表現も即刻否定されるような性格のものではないだろう。万物還金術も目前に迫っているとさえいえるかも知れない。

トランジスタの基本技術がゲルマニウムによって確立したが、その後トランジスタおよびその応用としての各種半導体がすべてシリコンに置替ったことなど、将来を予見できない例として挙げられよう。また家庭用冷暖房機による冬季の低温度の外気からの熱量を、より高温度の室内に汲上げることなど、一見常識的にも原理的にも耳が疑われるが、現実に実施されており否定する人はいないだろう。これにはコロンブスの卵のたとえが当嵌まるかも知れない。

将来の技術発展に対して大きい期待のかけられるものとしては、自由なアイディアの発想、実験的事実、専門を超越した総合的検討などの行われるシンクタンクの雰囲気が必要で、会員の声欄がこのような性格の場に僅かでも発展することが期待される。

\* 滋賀女子短期大学教授

〒569 高槻市日吉台1-15-17 (自宅)